

# バストス週報

第1547号  
昭和十二年一月十日  
月曜日発行  
Director  
Koiti Mori  
Redator  
Shoho Miyatake  
Rua 10 de Novembro 882  
C. Post. 112  
Fone 340  
BASTOS E.S.P.  
Annual Cr. #. 85.00  
前金 Adiant.

後流 1

## 新年雑感



## 謹賀新年

旧年中は格別の御引立を頂き、  
ありがとうございました。

本年も宜しく御祈り致します。

一九二七年 元月一日

○どうも斯う早く正月がやって来ては困る。知友の方に訊いてみても、やはり一年たつのが早いと言われる。昔の人も「光陰矢の如し」などと言っているから、月日のたつのは早いと感じていたのである。わが太陽系には地球の外に七惑星が太陽の周囲をまわっているわけだが、どれもが同じ速度で運行しているとする、木星とか、天王、海王星などは、太陽から遠距離だから、地球のように三百六十五日で太陽を一周するわけにはいきまい。太陽を一周するのに地球の所要日数の三倍も四倍も必要とする。終つくりした感じになり、還窟で困るようになるかも知れない。地球以外に人間のような生物が棲めないので、温度の外かに一日の時間、一年の日数などが、ひどく違うためかも知れない。

○暑いなあー、寒いなあと言っているうちに一年が過ぎこしまう。この変化の速度が、吾々人間にとつて、最も適度であり、「一年の速度が早すぎる」などと文句を言つては罰が当たるかも知れない。

○老人クラブに入会したのは、ついこの間だと思つていたら、十年は、あつと夢の間にパッサし、今年が八十歳かと、わが年を疑うようなありさまである。正月が早く来ようが、遅かろうが、ちやんと一年の決済はして来れる。俺は都合がわるいから、今年が歳はとらぬぞと頑張つて見たところ、こればかりは避けられない。公平な、うまい仕組みになつて、いるものと感心するはかりである。

○お互い様、歳はとつても止むを得ないが、近年のように物価の攻勢がつきまとうて、こいつの方がうるさい。年に物価の向上が四〇%だと、去年一ヶ月一家族の生活費が二千クルペイロしかかかた。たとすると、今年は一、二千八〇〇クルペイロになり、来年は、三千九百二十クルペイロをカスタする勘定になり、収入のまんぐりに頭をいためる。すなわちインフレの乾涸らびろへしかうしむるゆえんである。古い記憶では、バストス開拓十年位までは日給七ミル(今のセントーポ)月給三百ミル(三百セントーポ)で、細々ながら食つて通つたものだ。

○それが一ヶ月三千コント無けりや暮せぬとは、何と馬鹿々々しい話であるうか。インフレは突に馬鹿くさい経済事情だが、巧みにインフレを乗りまわすと、金持ちになり、家が建ち、自動車かものになるから不思議である。

○月給三百ミルや、日給七ミル時代では、いかに逆立ちしても自家用車をかうなど、夢にも考えられなかつた。その頃乗用車は四十五コントか、五十コント程度だったが、それでも高嶺の花で、手が届かなくなつた。

## HOTEL PRIMAVERA

Rua Pres. Vargas 271. C. Post 60. Fone 92



## ボニール農園

郵便 六六〇番  
電話 九二番

## FLORA BASTOS

T. MORIMOTO & FILHOS LTDA.  
Rua Duque de Caxias 524 - F. C. Post. 171 Fone 29

## 森元苗木本舗

○インフレというものは、国々の経済事情によって起るものだが、AとBとでは隣国同志でも、必ず同時に起るとはきまていない。二十年前後からブラジルにもインフレが入り込み、収入も増したようだが、物価の高騰がめましくなつた。農家経済が向上したのは、農産物の高値がつづいたからだが、この期間に土地の売買した人たちは、驚くほどの金持ちになつた。土地に限らず、金利など馬鹿らしいと、たとえば新型の乗用車を二台も三台も買って倉庫に入れて置く、和らぬ間に倍にも三倍にも値上り

生活安定に備えて果樹園の造成を、果樹園成功の秘訣は良種の苗木を選ぶことにある。優良の苗木は農林省公認の信用ある苗木農場「フローラ・バストス」森元苗木本舗へ御相談下さい。親切に説明申し上げます。  
只今、シチを巡廻して居ります。宜しくお願ひます。  
蘭の苗、珍種、新種を全伯の有名な園と特約して安価に差し上げております。果樹苗の外、花木類、庭木生垣用、植林樹用の苗木、盆栽用、鉢植用等の苗、松、杉、椿、モミジ、サクラ、ツツジ、モクレン、桜、バラ、など園芸用の苗木もあります。

りして、物でもっていろ方が得たと去るのは、インフレーションの作用だとも云ってよいであろう。

○在伯邦人が盛んに母国を訪問する事実も移民史五十年の経済発展の然らしむる処にちがいないが、金かたぶつき、金の余波かうち寄せこくる時代にの、たからだ。インフレーションのお陰と云っては、言葉の上で誤りがあるが、通貨の極少であった大昔では金持になりたくても、なりようがなかった。

しかるに経済大国になった現代では、世界漫遊飛行者が肩と肩がぶつかる程で、いかにして金を消費するか頭痛のたねだという。通貨がありあまって、いる現象。これもインフレーションを助長する一因であるが、おだやかなインフレーションは、むしろ望ましいのではないかと思われる。

○最近の世界経済を攪乱した元凶は、アラブの石油である。後進国のアラブ諸国が石油によって一躍大成金となり、石油が世界文化の源泉となしている現代では、非産油諸国は、赤字を覚悟で石油を輸入せずには居られない。日本のように、アラブの石油にたよっている国では、OPECの石油値上げの度に、国家経済を脅かされ、ここ数年来アラブに首の根っ子を押しえられて四苦八苦の情態だ。


それでも、死物狂いの大工業国として活動している

○わかブラジルはどうか？、莫大な石油を持ちながら、開発が間に合わず、全消費の70%を自給し不足分を輸入している。その全額が六億ドルに達している。そのため、よほど貿易面に力を入れないと、外貨を蓄積することが出来ない。自動車を持ちまわすことは結構だが、個人の懐中に消費はなくなり、国家という立場から見ると、ガソリンの節約は、国家経済に、それほどの影響はあるものだと知らねばならない。

○日本など、石油をアラブから輸入する国でありながら、自動車の製造は世界一。国民も二軒に一台は持っているという。年々海外へ何十万という登山客を出す。ロイタクといえ、これほどの無駄はあるまい。自分の金を旅行をするのだから、政府も文句の云いようもあるまいし、飛行会社も儲かることだから、奨励するだろうし、航空文明の開発に遅れてはなるまいし、考えてみると実にさぞどい文明であり、世相であるように思われる。尤も日本が特別にはげしいだけで、世界各国が熱くガソリン消費をやっているのだから、心配する方が野暮かも知れぬ。

○日本政府も福田内閣の出現で、一応おさまったようだが、敵党と政権を争うことになり判るが、自民党の場合は仲間同志で政権争奪をやったのだから、見苦しかった。三木さんも二年やっつて大味喧嘩はなかつたが、期待したほどでもなかつたという感じだ。口事件で競争相手の田中角栄を追い落したのには武士道から云うと、あと味のわるい印象だ。角栄が収賄したため大根や豆腐が高くなったというようなら、批難はききぐろし。角栄の土地ころがしや、共有地払い下げを決していいとは言わぬが、口事件の元凶と締めつけて葬ってはならぬ。選挙で十六万票も

**INSTITUTO DE OFTALMOLOGIA DE TUPA**  
 Clica Cirurgia de Olhos  
 Prescrição de Óculos e lentes contato  
 Dr. Isao Umino CRM 22.615  
 Dr. Dr. Luiz Carlos Alves Negrão CRM 22.615  
 Rua Carijós nº 278 - TUPÁ Fone 2903 Em frente Rodoviária.



**おしらせ**  
 このたびツパン市カリジス街ロドリリアオ前に於て開業致しましたので、バス停への出張が不可能になりました。  
 つましましては、治療中であつた患者さんは、恐縮でございますが、ツパン近でおいで下さい。診療時間は午前八時から十二時まで、午後三時から六時まで。眼鏡の度調へ手術一切 I.N.P.S. 受け付けます。  
 ツパン市カリジス街二七八  
 ロドリリアオ前、電話二九〇三番  
**ルイス・カルロス・アルベス・ネグロン**

とって一位で再選されたことは、事のよしあしは別として、政治というものの一面をあらわしていることを納得せねばなるまい。角栄には近いうち裁判がまわっている。裁判で或は無罪になるかも知れぬが、収賄の汚名を著せられたという事実はなかなか消えないだろう。彼が政界に復帰は出来ても政権には近づけない。だが、さういうすれすれの線まで出るかも知れないところに興味がある。

○アメリカもカーター氏が第三十九代大統領としていよいよ発足する。ニクソン・フォードなどとは違った味の魅力をあらわすかも知れない。新しい米閣僚に二人の女性、しかも黒人を加えたことなど一寸風変わった陣容である。日本も新内閣の発足で米といかような接触を見せろか、朝鮮アメリカ問題も表面に出て来ようし、中国とソ連が、これにどうかわまつてくるか、七七年は極東にとって風当たりが強いかも知れぬ。日本の経済戦の屈辱も容易ならぬものがあり、昨年にも増して激動の年になるかも知れない。

○それともう一つ、いやな予想は米国にも日本にも地震の予想がある事で、もし国家難の最中にでも地震の鬼舞でも受けたら飛んでもない災禍である。天災だから仕方がないなどと云うてはおられないからである。

○さしあたって神経をとからすこともないブラジルの新年は、吾々移住者も帰化人も含めて日系社会とくく葛藤を胸に秘めて層の躍進を期待したいものである。

示  
立白

死亡通知並に会葬御禮

母、照井ヨシノ（六十七歳）儀、七年前軽い脳溢血に倒れ、その後半身不随の身でありながら、毎日好きな野菜畑を働いてたのしんで来たのですが、去る十二月二十六日夕七時突再発を起し、病院へ行く間もなく、七時二十五分長逝致しました。

此の儀生前御交誼を賜りました皆様へ謹んでお報告申し上げます。尚、葬儀に際しましては、御多忙中の処態々遠路御会葬下され、其の上御鄭重なる御香料並びに花輪等御供え下され、裡心より厚く御礼申し上げます。

実は一々御礼にお伺い致すべき筈の処、取込中にこそこの意を得ませず、遅延ながら略儀紙上を以って御礼申し上げます。

一九七七年十二月二十九日

セツソン、アビコラ区

- |                |     |            |         |       |     |
|----------------|-----|------------|---------|-------|-----|
| 北海道道人会一同       | 信 太 | セツソン、アビコラ区 | 長男      | 照 三 井 | 英 夫 |
| セツソン、アビコラ区     | 茂 様 | 父          | 照 井     | 浅 之   | 江 夫 |
| ドラドス堂 前 昭 雄    | 六 様 | 長女         | 木 村     | 三 枝   | 子 弟 |
| コペラナーバ、アビコラ    | 三 様 | 次女         | 三 浦     | 節 子   | 二 子 |
| バストス P.M.教会員一團 | 二 様 | 三女         | 樋 口     | 三 木   | 弘 子 |
| バストス仏教婦人会      | 一 様 | 四女         | 谷 口     | ツ 木   | 子 弟 |
| バストス南米本願寺      | 一 様 | 五女         | 堂 前     | 洋 子   | 子 弟 |
| 水 馬 養 鶏 場      | 一 様 | 六女         | 堂 前     | ア 子   | 武 子 |
| フネ ラリア イホラン    | 一 様 | 妻          | 照 井     | 康 裕   | 子 弟 |
| ファルツーラ 農業俱樂部   | 一 様 | 四男         | 照 井     | 康 裕   | 子 弟 |
| ファルツーラ 農友会     | 一 様 | 七女         | 廻 田     | 房 子   | 子 弟 |
| ファルツーラ 農友婦人会   | 一 様 | 妻          | 照 井     | 康 裕   | 子 弟 |
| 会葬者 御一同        | 一 様 | 親戚代表       | 堂 前     | 武 男   | 子 弟 |
|                |     | 友人代表       | 馬 欠 場 哲 | 夫 時   | 子 弟 |
|                |     |            | 藤 登     | 夫 時   | 子 弟 |

# 蒼氓 (そうぼう)

石川 達 三

「蒼氓は石川達三氏の出世作である。昭和十年四月、同人雑誌『星』に発表され、同年第一回芥川賞を獲得した。この芥川賞の候補としては、石川氏の外に高見順、太宰治、外村繁等の諸氏が挙げられ、これによって数人の作家が眼白押しに又塵に登壇する機縁となった。当時の菊池寛の評言の一部をここに引用して置こう。「芥川賞の石川君は先ず無難だと思っている。この頃の新進作家の題材が、結局自分自身の生活から得たような千篇一律のものであるに反し、一団の無智な移民を描いてしかもそこに時代の影響を見せ、手法も堅実であると思う」

一九三〇年三月八日

神戸港は雨である。細々とけぶる春雨である。海は灰色に霞み、街も朝から夕暮れどきのように暗い。三ノ宮駅から山の手に向う赤土の坂道はどろどろのぬかるみである。この道は朝早くから幾台となく自動車が行き詰ったところ、それは殆んど絶え間もなく後から後からと続く行列である。この道が丘につき当って行き詰ったところに黄色い無裝飾の大きなビルディングが建っている。後に赤松の丘を負い、右手は鬱々とした塔をもったトア、ホテルに続き、左は異く汚ない細民街に連なるこの丘の上の堤が「国立海外移民収容所」である。

濡れた光る自動車が次から次へと上って来ては待てる。停るとぎしぎしに詰っていた車の中から親子一同そろりと細雨の中に降り立つ。途惑して、襟をかき合せて、あたりを見廻す。女房は頭をかしげて亭主の表情を見る。子供はしゅんと鼻水をすすり上げる。やがて母は二人の子を促し、手を引き、父は大きな行李や風呂敷包みを担ぎあげて、天幕張りの受付にのっそりと近づいて、ヘッとおじぎをする。制服制帽の巡査のような所員は名簿を繰りながら訊ねる。「誰だね？」

「大泉、進之助でございます」

「何処だ？」

「どこだ。何県だ？」

「秋田でございます」

所員は名簿に到着の印をつけて、待合室で待っているようにと命ずる。父は又ヘッとお辞儀をして行季を担ぎなおす。待合室と言うのは倉庫であった。それがもう人と荷物で一杯である。金網張りの窓は小さく、中は人の顔もはつきりしない程に暗く、寒く、湿っぽい。

「ここを待ってれ」と父は言って、行季を担いで人

## おしらせ

バストス明老会発足

### 一周年記念

来る二月二十三日(日)午後一時  
バストス総合会館に於て

### 余興大福引会を

いたします

会員(七十歳以上の男女方)のこらず

御出席下さい。近所の老人方に知らせてあげて

当日は茶菓の用意があります

世話人は十分ばかり早目においで下さい

### バストス明老会

### 各位

の中を分けて入って行くと、荷物を置く隙間を探した。大きな棚が三段に打って幾列にも並んでいる。女達はみなこの棚の上に坐っている。男たちは荷物に腰かけて煙草を吸っている。妙にしんとして碌々とした。子供達が泣きもしない。憂鬱に黙りこくって、用もないのに信玄袋を開けて見たり、手話のひらめを眺めて見たりしているのだ。

行季を置いて出てくると、大泉さんはほっとして戸口に立った。ぬかるみの坂道を自動車はまだ続いている。はてしもない移民の行列だ。ブラッセルへ、ブラッセルへ！

遠く、港が灰色にかすんで見えている。その向うには海がばやけている。そしてその海の向うには、外国がある。ついで考えて見たこともない外国のことか今は大きな不安になって胸を打つ。すると又しても故郷の山河を思い出す。故郷には傾いた家と、麦の生え揃った上を雪が降り埋めている幾段幾段の畑と、そして永い苦闘の思い出がある。しかし、家も売った畑も売った。家財残らず人手に渡して来たではないか。

「本倉さん、まんだきや？」女房が後から問いかけた。ふり返えらうとした時に、指度受けへや。て来た。一回の家族を見付けて、おう、いんま来た？と言

「た。彼は漸く染々とした微笑を浮かべ、煙を喫うことも忘れていたのに気がついて袂に手を入れたが、頑丈な大きな肩に細く光る雨を受けて受付の方へ歩いて行った。女房もや々と遺り場のない気持をわらうが、十三と五つとの子供達にまで「ほりや本倉のおんつあんが御座った」と言った。

本倉さんとは杉の義立を隔てて隣り同志であった。彼は大阪の親戚へ寄ったので一定後れて来たのであった。彼は六人の家族を連れて、てんでに荷物を担いで、倉庫の入口に立つと愕いて言った。

「おんや居だも居だも！こりや一雙の船さみんな乗れっかな？心細くねくえかべどもしや」

「んだ」と大泉さんも同感した。それから人々の間を掻き分けて何とかが落ちつく場所を見つけると、知らない人達のあいだに挟まって行李や包みの上に腰をかかけた。人いきれがむっと奥くて、雨に濡れた着物の蒸れた匂いが鼻をついた。眼の前の棚の一段目には婆さんが坐っていて、鼻水をすすって煙管をかろかろと叩いていた。憂鬱そうに唇を歪めて煙草を喫った。そしてぼんやりと傍に佇んでいる若者に向って、勝治仁丹持ったか、と言った。門馬さんと婆さんは風邪をひいているのだ。勝治は隣の若者に向って

「孫さ、仁丹ねえか、有ったらけれ」と言った。孫はまた隣へ向いて

「姉しゃん仁丹有ったな。出してけれ」と言った。紡績女工であつた頬の赤いお夏は、バスケットの蓋をあけた。洋服を着た洒落た娘がマンドリンを抱いて立っている。父親の勝田さんは革のストッキングに腰かけて、襟に毛皮のついたインパネスを着ている。半ば白い髭があつて、でっぷりと肥えていて、物知りめいて隣の中津井さんという熊本男に話かけている。

「そりやあんだ日本とは比べものにならん。気候はね、いつでも合服一枚ですむようぢええ気候だし、土地といえはもうその肥えて肥えて、乗かね、乗の苗かね、植えてまる一年で以つて、こう！二寸から直徑になる。わしは一つうんと養蚕をやるつもりだかね、珈琲はもう生産過剰で行き詰りましたな。将来は果樹及び養蚕、殊に養蚕はええですよ。現在では絹物は全部輸出すからね、ええ」

「元気で喋舌つてゐるのは此の人ばかりで、相手の中津井さんも俯向き勝ちだし、彼の多弁が却つてそのあたりの人々を一種沈鬱な不安な気持ちにさせるのであつた。本倉さんは黙って煙草を下駄で踏み消しながら囁く様に言った。

「大丈夫だべな」

「うん」と大泉さんは答えた。それは体格検査の事であつた。本倉さんはトラホームであつた。そしてブラジル入国の移民の第一條件は「一、トラホーム患者に非らざること」である。患者はセントス港から一歩も上陸させないで、そのまま送り返さされる。これだけ移民にとって最大の恐怖であつた。しかし本倉さんの郷里の予備検査で合格したからこそ来たのである。

「何としても合格せんばならんねな」大泉さんは決心を固めるようにつぶやいて大きな体を行李の上でぎしぎしと置きなおした。すると彼の後に居た支原さんは、土の浸み込んだような黒い織の寄った額を振り向けて立ち上つた。

「お常、こつちや来え」

十五、六になる赤い襟の生々しいお常はお下げにした赤い髪を背に垂らして、父の後から人混みを分けて外に出た。まだ銀色の細い雨が煙のように降りつついていた。父は烏打帽を傾けて軒づたいに倉庫の裏に廻って行った。ここなれば誰にも見つかるとはならない。ただ軒端が光りながら並んで落ちてくるだけだ。お常は父が何をするのか知っていた。だが父の前には立ち止まると眼を閉じ、じつと顔を上に向けて待った。少し蒼白い弱々しい顔にしぶきのよるうに小さな雨の粒が冷たく落ちた。父は袂から口ト眼薬の小瓶を取り出して、脾の切れた大きな手で不器用な点眼をしてやつた。へんとして合格せん

は万んれえ！

ぬかるみの坂道を自動車はまだ続いていた。三ノ宮駅に汽車が着くたび毎に、親子手を引きあい、荷物を担ぎ、そろそろ降りて来るのだ。殆んど大部分の者が始めて自動車というものにはためらいつながら乗るのだ。その車を横切つて、灰色に暗い雨空にりんりんとしたたましい鈴の音を響かせて、另外売りが叫びながら走つていた。ロンドン軍縮会議が丁度真最中である。朝の新聞では軽巡洋艦の艦型制限で議論沸騰し、再び委員付託となつたこと、アメリカは依然として大巡十八隻案を堅持しているという事、しかもこの問題をよそにして、イギリスはシンガポールの要塞の工事中止の声明を裏切つて工争の橋頭堡を議決した事を知らしている。一方では文部大臣小橋一太郎が越鉄疑獄に連座して、辞表を出した筈なのに起訴拘留された事を報じている。物情騒然として暗澹たる中に、胸を刺すような鋭い号外の鈴の音が絶えず移民の自動車の行列を突っ切つて走つて居るのだ。

午後十時、黄色いビルディングの中から騒がしい銅鑼が鳴り響いてくる。すると所員が受付の天幕の中から名簿を持って出て来る。倉庫の入口に立って身動きもならぬほど詰つて居るお百姓達に向つて叫ぶ。

「只今から体格検査がありますから、名を呼ばれた人は家族全部を連れてあちらの建物に行つて下さい。順番にです。荷物はそこに置いたままで宜しい。いいですか、もう一遍言いますよ。名前を呼ばれた人は……」

倉庫の中は急にざわざわして荷物をまとめて立ち上る用意を始める。所員は北海道から順番に青森、秋田、岩手と呼び上げて行つた。呼ばれて倉庫を出て行った者は女房を促し、子供の手を引きながら、細い雨が斜に降る中を暑い建物までそろそろ歩いて行く。入口を入ると暗い長い廊下が真直ぐに伸びて

は万んれえ！

ぬかるみの坂道を自動車はまだ続いていた。三ノ宮駅に汽車が着くたび毎に、親子手を引きあい、荷物を担ぎ、そろそろ降りて来るのだ。殆んど大部分の者が始めて自動車というものにはためらいつながら乗るのだ。その車を横切つて、灰色に暗い雨空にりんりんとしたたましい鈴の音を響かせて、另外売りが叫びながら走つていた。ロンドン軍縮会議が丁度真最中である。朝の新聞では軽巡洋艦の艦型制限で議論沸騰し、再び委員付託となつたこと、アメリカは依然として大巡十八隻案を堅持しているという事、しかもこの問題をよそにして、イギリスはシンガポールの要塞の工事中止の声明を裏切つて工争の橋頭堡を議決した事を知らしている。一方では文部大臣小橋一太郎が越鉄疑獄に連座して、辞表を出した筈なのに起訴拘留された事を報じている。物情騒然として暗澹たる中に、胸を刺すような鋭い号外の鈴の音が絶えず移民の自動車の行列を突っ切つて走つて居るのだ。

午後十時、黄色いビルディングの中から騒がしい銅鑼が鳴り響いてくる。すると所員が受付の天幕の中から名簿を持って出て来る。倉庫の入口に立って身動きもならぬほど詰つて居るお百姓達に向つて叫ぶ。

「只今から体格検査がありますから、名を呼ばれた人は家族全部を連れてあちらの建物に行つて下さい。順番にです。荷物はそこに置いたままで宜しい。いいですか、もう一遍言いますよ。名前を呼ばれた人は……」

倉庫の中は急にざわざわして荷物をまとめて立ち上る用意を始める。所員は北海道から順番に青森、秋田、岩手と呼び上げて行つた。呼ばれて倉庫を出て行った者は女房を促し、子供の手を引きながら、細い雨が斜に降る中を暑い建物までそろそろ歩いて行く。入口を入ると暗い長い廊下が真直ぐに伸びて

# 謹賀新年

バスターの帰帰目出度くお越年の極さ、大慶に存と上げます  
 今年も相あわらずよろしくお祈り致します  
 一九二七年一月九日



## 早川忠蔵

### 第六十四回バスターゴルフ月例会

氏名	アルト	イン	グロス	ネット
1 島本繁雅	49	49	98	65
2 吉浦守	42	42	84	70
3 竹原純	45	41	86	71
4 能見幸雄	45	45	90	71
5 水馬昭二	46	49	95	71
6 奇森登	54	50	104	72
7 東幸雄	43	42	85	73
8 永吉久雄	47	46	93	73
9 浅川義範	40	41	81	73
10 鶴勝	48	49	97	73
11 伊藤今ツト	58	46	98	73
12 古賀一敏	57	53	110	74
13 島本昇	44	42	86	74
14 谷内敏雄	51	49	100	74
15 水野幸作	41	47	88	74
グロス	81			
浅川 義範				

CERTIFICADO DE REGISTRO DE PRODUTOR DE MUDAS Nº9067/P

ENG. AGURONOMO DR. SERGIO SATO

謹賀新年

明けましてお目出度うござ座居ます  
昔年中は多大なる御引立に預り有難う申居ました  
今年も旧年に倍して何年より多くお願い致します  
一九二七年 元旦

ハストスの将来の爲、又養鶏養蚕の副事業としましても珈琲は  
最も楽しい永年作物と因ります。尚今年度新苗木の注文に  
応じて居ります。多少にかかわらずお申込み下さいませ様  
お願い申し上げます

ハストス市 ツッキテカシアス街 郵函 一四二番  
電話 三九一番

カフェー(珈琲)苗木商

樋浦滝翁

いて、その廊下に列を造って待たされる。先頭から  
順次に名を呼ばれて医務室に入つて行く。そこに上  
半身を裸にされて、背と胸とを銀色の小瓶で叩かれ  
て、次に腕の皮を剥返しにめぐられて、その二つに  
合格すると、室と寝床との番号札を渡される。それ  
を持って次の室へ行く。そこで当収容所に於ける生  
活の注意を与えられ、首からぶら下げる様に紐のつ  
いたセルロイドのサックに入れた食堂「バス」を貰  
う。このバスが打くのは飯が食えないのだ。  
廊下に並んだ人達の間では、雨に濡れた着物から  
発する悪臭と、濡れた女の髪から発する悪臭とがむ  
つと温くて、暗い片隅に踞まつた大泉さんは何と  
しても合格せんばなんねえ」と本倉さんに言う  
もなしに言った。すると表原さんは今一度お幣を促  
して洗面所に行つた。そして人の居ない隙を見て又  
眼薬をしてやつた。

「佐藤勝治……妻夏」と係員が大きな声で呼び上げ  
た。お夏は、弟や知らぬ人達の前で妻と呼ばれるの  
は始めてであつた。彼女は伏眼になつて勝治の後か  
ら医務室に入つて帯を解いた。その姉の頬が林檎の  
様に赤いのを、弟は美しいと思つた。

「佐藤勝治の母門馬くら。弟門馬義三……妻の弟佐  
藤孫市」

孫市は名を呼んでゐる所員の顔を通る時叱られけ  
せぬかとびくびくしてゐた。姉のお夏と勝治とは本  
当の夫婦ではないのだ。友人の門馬勝治を婿にして  
形式だけ佐藤の籍に入れたのだ。どうして(満五十  
歳以上の夫婦及び其の家族ニシテ満十二歳以上ノ者)  
を以て家族を構成しなければ渡航費補助移民の条  
件に合わぬか。門馬さんは婆さんと二人の息  
子、孫市は姉弟。この二組が一緒になつて一族と  
いう形式を臨時に作つたのだ。然し是は孫さんの智  
慧ではない。移民取扱海外興業会社の地方業務代理  
人山田さんが教えてくれたのだ。叱られるどころ  
ろではなかつた。係りのお役人にとって平凡過ぎ

る事である。むしろ奨励してもいい位だ。そうす  
れば海外発展の成績は上り国内の人口問題も多少は  
助かる。海外興業会社にしてみれば、移民が一人ど  
も多ければ、それだけ村業殷盛だし、地方代理人山  
田さんにしては自分の扱つた移民については歩合が  
貰うえる訳だ。孫市よりもうまいのは物欲の勝田  
さんだつた。彼は移民会社に託して五千円をブラジ  
ルに送つてある。そして現に帳中に三千円持つてい  
る。これだけの財産があれば、渡航費補助は貰うえ  
ない。自費で行くとすれば、家族八人二百円づつで  
千六百円かかる。そこで考え出したのが、自分の十  
六になる娘を親戚の青年の嫁に付立てる事だ。相手  
の青年は検査前の青二才だから、この男を戸主にし  
て了えば、戸主は無一文だから当然移民になれる。  
すると勝田さんは妻の父である。勝田一線は妻の  
母、妻の兄弟という名目で、かくて立派に船賃千六  
百円をまる儲けをした。拓務所をベテンにかけたわ  
けだ。

表原さんはお幣のことか気に打つた。しかし目薬  
の効き目まで(当収容所に於いて療養すべし)と言う  
だけだと先ずバスした。そして本倉さんは「隣り  
の室で待つて居れ」と言つて後廻りしにされた。  
後廻りにされた中に熊本から来た黒川一家があつ  
た。夫婦の間に十一を頭うに九人の子がある。しか  
もそれだけでは移民の家族にならぬので、親戚の  
十三になる女の子を一人入籍して連れて来た。都合  
十二人だ。最後の子供は生後三カ月である。規則に  
は六カ月未満の嬰兒は許されないのだ。医者はこの  
子を見た時は「と見たまえ」と思わす、これは「と言つた  
君、ちよつと見たまえ」とと彼は隣りに居る医  
者に言った。

「恐ろしい養蚕不皮だよ。」この子は蚕のようなぶ  
よぶよで、蒼白く透きとおるような肌の下から静脈  
の細目が見え、かり見えていた。  
つづく

# 中央親睦会の新年会



今年も正月元日午前九時から綜合会館に於いて例年通り新年が催された。バスト又中央親睦会々員は約五百家族であり、その五百家族には一軒残らず新年会開催の通知兼案内状が配られた筈である。案内状を貰ったら出席するのが礼儀思われるが、今年も出席者はわずか百余名で、全会員の五分の一という出席率であったのは、どういふわけであらうか。

案内をもらはなくても、毎年元日の九時には新年会が催されることは、中央親睦会の会員なら知らぬ人はない筈である。新年会にはごちそうが出ないからだろうか。

カ・ガメントの案内などもあった時は、主人一人の名宛の案内状に夫婦から子供まで引き連れ、中には一家総出で行き、包んだ御祝儀に負けんぐらい食って飲んで、まだ帰りには、その迎の御馳走を掻き集め、最初から用意して持ってきたサツコロに入らなければ詰り込んで帰る人もある。

案内状の名宛が、御夫妻様とあれば、二人前の御祝儀を包んで夫婦で行くのが礼儀であらう。カ・ガメントの案内なら家内子供を引き連れて行くのに、新年会にはお御馳走が出ないから出席しないというのでは、あまりにもエゲツないように見えてきた。

どうも出席率を云おうとして、話が横道へ外れてしまったが、新年会には御馳走は出ないが、会員一同が会館に集り、昔日のように、一々年始廻りをせずともお互いに新年の祝詞を述べ合い首話の花を咲かせたり、結構楽しいものである。

柳浦さんの可成り、先ず前山会長さんの年頭の挨拶と前懸で正月気分が出て来た。昨年は吾バストスには劇団が復活して、文化の進展を見た。また、織田糸音さんが勲六等旭日章を日本政府から授けられたことは、織田さん一人の名譽ではなく、わがバストスの名譽であり、昨年度の特大ニュースとして記録すべきである。

今年も昨年につづいて不況で、今の処この不況の好転するようが見込も予想もたないが、今年も七、八年で、七か二つ重さなり、七十七は喜の字でもあり、この不況を私共は克服して(花)の年としようではないありませんか、と云う意味の話を拍手を浴びた。

乾盃につづいて文協会長の崎田氏が指名されてマイクを取った。崎田氏は、祝詞に於いて今年には困難な年である、これは来る十二月末大統領のテレビを国民に告げた話をひいて伯国の経済事情説明されたのである。わかバストスは今年開創四十九年であり、昔は人生五十年と云われたが、現存では五十歳で完成され、不惑の論である。バストスは五十歳にして基礎が固まったのであり、発展はこれからである。一層奮起努力して、この困難に打ち克つたなくてはならない。

祖国日本では、ブラジルへも来たことのあるブラジル好きの福田内閣が発足した。これにより日伯関係は益々強化される希望の年であると述べられた。司会者は更に南銀支店長高橋氏に、今年のお話も、今年にはあまりあまり金儲けはなめらかな年ではないであらう。危険な投資より、健全な行き方であるべく支出を控え、余力を蓄えるべき年のように思うと述べられた。

商工会を代表して太郎田衛氏が指名されてマイクを手にされた。氏は石油ショック以来の世界の経済状態の変動から、今夜の原油値上りから伯国に及ぶ影響などの説明があり、私共がこの不況の波を乗り

り切るためには如何に覚悟すべきかと云う大きな指しを与えられた。

統一ののど自慢のように余興に移り、賑やかな新年会となった。幸によい天気で、誰の顔も明るかった。来年は今年より出席率をよくして、一層賑やかな新年会にしたいものである。

昨年は余興に福引をやったが、今年はこのをぐり、五日の夜八時から会館で、(練絶海洋博覧会記録)の映画を上映して、集材で見せてくれることになった。

## 移住の思出 続編 第二部

梶山 双樹

モジアナの生活と今昔 (サントス上陸)

博多凡は愈々樽の地ブラジル国サントスの埠頭に横付けされた。タラップを降りて振り返ると、毎日勝手な事はかり云って手古摺らしてばかりいた船長や事務長、船員達迄日章旗の旗ついている甲板上がら純白な制服で見送られていた。実に神戸を充てから六十六日振りである。

○夏服と船員帽に投キッス

○ハンカチを振って長途の旅終る

私は博多丸が何年から何年まで何航海をし、何万人の移民送り出しに協力したものが、恐らく厄大なものと思ふが、残念ながら知る機会に恵まれていない。又其の後の船の運命も判らぬ由もない。

早いだけが取り得の此の頃の飛行機旅行などは、遠い(最近のハ抵に移民船アルゼンチン丸の模型が史料館入りすると知らせていたが、よきにつけ、悪

Bandeirantes Comercio e Representação de Esquadorias LTDA.  
Rua Ademar de Barros 7/8 em cima de foto Miyazaki Bastos E.S.P.  
Portas comerciais, Portões, Grades, Venezianas, Vitros Instalação de para Raios, etc----

### 伊丹商会

ルマアテマルテ パーロス街 宮崎宮真館上階

## 開店おしらせ

### 建築用金物専門商

ポルタ(商店用巻上げ鉄扉)  
ポルトン・鉄製窓枠・扉一切  
鉄製セルカ・グラーデ  
ベネジアーナ鉄製・避雷針  
テレビ用アンテナ各種  
電線引込み用鉄塔  
電気計量器取り付用鉄箱  
ヒサン屋根のブラッソ(腕木)  
製作・修理安価迅速丁寧





太陽が遠く西空の富士の高嶺のような山の端に一幅の絵の様にまもなく消えていた。そんな時刻にやがと耕地に着くことか出来た。

耕地内に着くと、サントスから同行していた通訳の渡辺さんが出迎えていた支配人アントニオ、コイノブラ氏と監督シヨアキンを紹介してくれた。其の内白人、黒人、ムロタの男女が物珍らしさうに集って来た。一人の男が手を見せると云うので、手を出すと、こんな手で百姓が出来ると云うので、手を出すと、自分達の手を出して手振り身振りで、理もない、二月にも余る船内生活で、色は白くなくなっているし、手は柔らさがたし、こううけやるを介したか、彼等の眼から見たら、小さな日本人などとも、その日私達に与えられた家は、建並んでいて、その三間続きの長屋の中の一軒で、炊事場と寝室だけの、まことに居るらしい、表から裏へ働き抜けられる様な家だった。その夜は支配人から借りて来たカフエー採収用の赤土で汚れたパンノにくるまて寝たが、幸い十一月だったので、寒さは少しも感ぜなかつた事は、せめてもの救いであつた。

その日の内に米、フェジョーン、マンジョー、トリゴ、赤砂糖、塩、カフエー豆、フマリニン、マデ、トリゴなど一ヶ月分の食糧と言つて渡された。

支配人は白人の何処となく智的で、育ちのよさを思わせる立派な男に見えたが、監督は大男の半黒人で、ピストルを両腰に下げ、銃弾を一杯詰めたパンシコッテとフォイセを持って、見るからに威嚇めいた姿で馬上から見下ろしている。耕主にとつては、こういう男が役にたつのであろうか、私達にとつては、右耕中此の男が一番苦手であつた。

翌日は予め準備してあつたと見えて、沐浴服もなく、各家族へコートと圍が割り当てられた。私達の畑

# Auto Mecanica BASCAR LTDA.

Rua Adhemar de Barros nº275 - Fone 156 Bastos E.S.P.

Agora em Bastos há um Oficina que você esperava, com mecanicos especializada em VOLKS WAGEN e CORCEL retifica de motores com assistencia tecnica a preço unico a Auto mecano BASCAR LTDA tudo que você esperava de um Auto mecanica. Agradecemos a sua preferencia;



オプティナ  
開業

皆さんお待ちかねの  
ホルクスワーゲン車と  
コルセル車専門特設の  
オプティナをバスターズで開業  
致しております。  
高等技術のメカニクが手腕を駆  
使して貴方の車を最高の快調整  
を最低値で奉仕致して居ります。  
何卒お引立の上御用命下さい  
迅速丁寧安価

バスカル商会

アマール、デ、バロース街、二九五番  
電話一五六番

は、三ヶ所に割り当てられた。近い所は二ヶ口位、五十度もあるような急斜面の石山の所もあつて、頭大の凡石が凄く勢いで転り落ちて来るので、落下する石の危険をよける為には、除草は何時でも列横隊に並らんで、常に注意は怠らなかつた。

地味と氣候に恵まれたモジアナ地方は、昔からカフエーの主産地として黄金時代を築いた事がある。永年作物としてカフエーが何処でも育つところから、こんな石山の山岳地帯まで植えられては居るのである。斯うした石山の山岳地帯に地層にも関係があるのか、モジアナ地方には各地にあつたらしい、耐え切れず夜逃げ、所謂脱耕する者が各地に出来たらしい。夜逃とは穩かでないが、還耕と云えば違かに耳ざわりが良い音感だ。一面我田引水で隠れ蓑のような臭みがかつても、人が人を刺つけない徳やかな言葉だからだろう。要するに夜逃げの事を脱耕と名付けたものらしい。若し発覚すれば、射殺もされかねない危険を犯して、家族を連れて夜逃げを敢行するなど、むしろ英雄視されたものだろうだ。

私達も追々とうとう先輩移民達の苦難の程や、動勢も少しづつ月日と共に解つて来た。表面は一応農業移民とはなつていても、官吏も居れば、商人も居り、会社員も居れば、教員も居ると云う様に種々雑多の職業の人達が渡伯の一手段として農業者を養つて来て居るのであつて、比較的純農というものは少なかつた。

兎角度打ければ打らない。土間に草を教しつて寝たのは二晩三晩ではなかつた。四、五日すると、町の教材所から板が届いた。支配人から贈られたものである。この間配新される時乗つて来た牛車を四、五枚づつ各戸配つていける。早速山向うの雑木林から伐つて来た生木を工間に打ち込んで作り付けの食卓と寝台を作つた。

## 大好評であった伯光団映画ショー

今年正月興行はシネバスターズで上映(二日、三日)松竹映画で、カルメン正統に勇躍し、高松を主役の旧作だが、木下啓介監督自作監督した日本映画では初めての色彩映画で、国産の富士フィルムの特長が世界に認められた記念すべき作品で観客を満足させた。

次いで四日が伯光団の映画とショーであつたが、伯光団はブラジルに於ける唯一の名人芸人で、ブラジル中何処へ行つても伯光団の名を知らない所はないが、地元バスターズでは毎年正月に新春興行として上演されるが、今年のショーでは菊若師匠の新作舞踊、黒田節の演技は特別の出来栄であつた。その衣装と言ひ、頭の髪形といひ、所作の美しさ、黒田武士の威風の舞如たる気品が溢れて、この一番の舞踊で観客満足されたであろう。

しかし、菊若、菊千代、菊次郎さん達の洋舞は決して下手ではないが、新鮮味がない。毎年菊若師匠がすぐれた日本舞踊を見せてくれたが、今年の彼女の舞は、たしかにうまいことはいふまいが、最初から終りまで平凡で、山かないから手の叩きようがない。来年の興行には、今少し工夫をして新鮮味のある踊りを見せてもらいたいものである。これは、菊千代さんも同様で、昨年の踊りが今年より確かによつた。

菊若師匠の「便利箱」は、彼一流のもので、他に真似の出来る者は、恐らくあるまい。第一趣向が良い。興行の踊はお座敷踊とは異なり、踊りがうまいだけではない。拍子も滑らかなものだ。芸を見る人が少く、目の先の変わったものを喜ぶものだ。

菊若師匠の奇術と魔術は良かった。今年の奇術は本格的な名人奇術で、観客をよろこばせた。菊若師匠の奇術は、奇術そのものよりも、表情と所作に他人の真似の出来ない良さがある。彼の奇術は成功だが、奇術には種と付掛けに莫大の費用がかかる。その費用の掛かる奇術をバスターズでは特別に深山見せしてくれた。

映画も良かった。第一トニーが脚でよく判る。来年の正月にも又良いを見せたい。一行の御健勝を祈る。

# Aviso de Cine Bastos

一月七日(金)八時 八日(土)九時半 監督 出目昌伸  
 東宝 酒井和歌子  
 総天 加山雄三  
 然色 誰のために愛するか 森光子

その人のために死ぬるか、今愛の中にいる人に、愛を知ろうとする人に、曾路雄三の名作を掲げて……

一月九日(日)九時半 十日(月)八時 監督 稲垣浩  
 東宝 市川崑  
 総天 夏木陽介  
 然色 大音巻 佐藤允  
 人馬もろとも吹っ飛ばす、野戦に疾る海軍の太尉、大音巻、

一月十四日(金)八時 十五日(土)九時半 監督 岩内克巳  
 東宝 井上順  
 総天 酒井和歌子  
 然色 青木英美  
 名島珍道中 本林光子

ライバル会社の彼女彼が、海外旅行の高売合戦、すったもんだのその果に、ケラムで見つけた素敵な恋、

一月十六日(日)九時半 十七日(月)八時 監督 山田洋次  
 松竹 渥美清  
 総天 信實子  
 然色 男はつらいよ 寅次郎相合傘の巻 下條正巳 笠智衆

漂泊の旅にめぐり合ったなつかしのリリン、其国の夏はうすら哀しく、心は飛ぶ江戸川の水辺、

一月二十一日(金)八時 二十二日(土)九時半  
 東宝 東宝俳優陣総出演  
 然色 死んだらどんでん返して、いたメカゴジラの奴また生きた、またか、再び決闘、

一月二十三日(日)九時半 二十四日(月)八時 監督 山根武文  
 松竹 愛と誠

Deposito de Madeiras Paraná  
 Rua Tapajós 140 Fone 2229 TUPÃ E.S.P.  
 Kaname Tamaki Cia Ltda  
 Comércio de Madeiras para Construção, Móveis, Forro Eucatex, Duratex,  
 Formica, Aglomerados, Compensados, Lambril, Portas, Venezianas,  
 Telhas Plásticas, Vitraux, Fedradinas, etc.

建築用材料なら一切何でも揃っている建材専門の商會です。もし  
 貴方が家をお建てになるなら、一度当店こらん下さい  
 木材から鉄材、砂利、砂、互、フラシレッ、プラスチック、天井、床、  
 硝子、セメント、チンダ、あらゆる材料が揃って居ります。

建築材料専門商

ツッパン市田巻商會

ル7 タパージョス 140番 電記 2229番

NOSSA RELOJOARIA  
 TAKAMI SHIBATA Rua Ademar de Barros 213. Fone 154

## 入学卒業祝の記念品

進学祝から御結婚祝の贈り物は  
 当店の腕巻時なら、贈られた方  
 も一生記念に残ります。

## カラテレビ

いよいよカラテレ時代になりました。放映のすべて  
 がコロイドです。コロイドの放映を白黒のテレビ  
 で見ると、コントラストのわるい汚い絵になります  
 か、カラーで見ますの夢のように美しい色彩  
 です。是非お試して下さい。

## ステレオグラブドール

レコードもテープも、今売っているものは全部  
 ステレオに吹き込んであります。ステレオ  
 のマキナで聞かなければ半分の価値も有  
 りません。御試聴下さい。

ルアマデマルデバロス街二一三番地  
 レロージョアリアタカミ

## 柴田時計店

電話一五四番